



寒さを経験することで開花の準備が始まるという桜の蕾は、2月に入ってから徐々に膨らみ始めて、近頃では枝が”密“に見えます。蕾も大きくなって、彼岸の期間中に開花しそうです。

「都鳥が見た古代」

過去の歴史を知るために、私達は様々な史料を手掛かりとしています。史料の中には文字で記録された“古文書”がありますが、古代のそれはとても少ないので、発掘による成果がとりわけ重要になります。

東部地区文化財担当者会ではその発足40周年を記念して、埼玉県東部15市町の古代史に関するリレー展示(巡回展)を行っています。越谷市では令和6年12月14日～7年1月13日に市立図書館で行われ、この地域の古代の様子がより具体的に紹介されました。テーマの中の「都鳥」は在原業平が隅田川で詠んだという和歌『名にし負はば いざこと問はん都鳥 わが思うふ人はありやなしやと』(「伊勢物語」10世紀の成立)に因んだもので、ユリカモメのことだろうと言われています。(このリレー展示の図録より)

「古代」について

社会の発展段階や社会構造による時代区分で、「原始」と「中世」の間の時代。今回の展示では奈良時代～平安時代を示す。“くに”が形成され、朝廷や貴族が律令制や荘園制などにより国家を運営した時代。「伊勢物語」が書かれた頃からは新しい階層＝武士が登場してきた。



地形と遺跡の関係

関東平野は古来大小の河川が網目状に流れていましたので、古代の遺跡は概ね台地や自然堤防の上に存在しています。当時の郡境はその河川によって設けられていることも多かったようです。



(「東部地区文化財担当者報告書第9集」より 一部改)

(註: 自然堤防＝度重なる洪水によって運ばれた土砂が堆積してできた微高地)

「この地にも古代遺跡があった！」

この巡回提示をご覧頂いた方々のうち、58名の方からアンケート回答が寄せられました。有難うございました。この中からいくつかをご紹介します。

★おもしろくて、しゃかいのべんきょうにやくにたちそうだった。(小学生)

★このようなことを通して歴史を感じ、昔の人はどのような生活をしていたのかが分かった。(中学生)

★“遺跡”というと教科書に載っている所のイメージが浮かぶが、当たり前に関東の奈良・平安時代について、もっと脚光を浴びてもよいのではと常々思っていました。世は近畿だけで動いていたわけではない。地元の子たちが歴史に興味を持ってくれるとよいと思います。(36～45 歳)

★結婚を機に横浜から越谷に移り住んでおります。地元の歴史を知ることですます愛着が湧いてきます。小学校で習うといいですね。(56～65 歳)



大道遺跡発掘 (2019 年)



(海道西遺跡発掘 2022 年)

★川と人の生活舞台は切り離せないものだというのが、地図に示されることでより強く感じられるところ、市ごとに示されているところも興味をひかれる。関東の奈良・平安時代について、もっと脚光を浴びてもよいのではと常々思っていました。世は近畿だけで動いていたわけではない。地元の子たちが歴史に興味を持ってくれるとよいと思います。(56～65 歳)

★今まで古代・中世のこの土地のことは、考えたことがなかった。この地にも古い歴史があり、人々が暮らしていたと思うと、土地に対しての愛着も湧く。(66～75 歳)

★教科書にある全国ベースではなく、身近な地域の具体的姿が見られてよかった。このような展示が見られる郷土資料館が是非とも欲しいものです。若者転入者が地元越谷の歴史を知ることができる。公園にある民家では、ぶつ切れで関連づけが難しい。(66～75 歳)

★埼玉東部の古代・中世の歴史を、また別の角度から研究、展示していただきたい。その際、隣接の足立区、野田、柏、松戸、市川との関係などにも言及してもらえればありがたいです。(66～75 歳)

★自然堤防上に人々の生活の営みがあったという気づきがあった。土師器と須恵器の作り方のちがいもよく分かった。(66～75 歳)

★図の中に川の名前の表示があると良かったのですが。(66～75 歳)

この巡回展示は現在は白岡市立歴史資料館で開催中です。(4月8日まで。資料も展示) その後は次のように巡回します。 *印の会場ではパネル以外の資料も展示します。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ・吉川市中央公民館(4月12日～4月29日) | *久喜市立郷土資料館(5月3日～5月25日) |
| *幸手市郷土資料館(6月3日～7月21日) | *蓮田市文化財展示館(7月29日～8月24日) |
| ・加須市パストラルかぞ(9月5日～9月19日) | ・三郷市わくわくライブラリー(10月24日～11月26日) |
| *行田市教育文化センターみらい(12月6日～12月21日) | *宮代町郷土資料館(令和8年1月6日～3月1日) |